学校番号	T4001

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）実用国語	単位数	２単位	年次	１～４
使用教科書							
副教材等	いきいきとアライブ国語常識						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

熟語を学んだり、自分の意見をまとめて文章を書いたりします。日常で触れる文章に対しての知識・理解を深め、新聞やニュースを正確に読めるようになることや、それらについて意見を交換できるようになることが目標です。
ある程度国語の知識がある人、または国語の力をより実践的に高めたいという人が主な対象です。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・様々な語句の意味を理解し、使うことができる。
・誤字脱字の訂正ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・自分の意見を小論文形式で書くことや、ディスカッションとして話すことができる。
・実生活で使う様々な文章を読んで理解することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・他者の意見を取り入れ、自分の考えを深めたり、語句の理解を深めるため創意工夫したりすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・様々な語句の意味を理解し、使うことができる。 ・誤字脱字の訂正ができる。	・自分の意見を小論文形式で書くことや、ディスカッションとして話すことができる。 ・実生活で使う様々な文章を読んで理解することができる。	・他者の意見を取り入れ、考えをより深めることができる。 ・語句の理解を深めるために、創意工夫が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期は開講しない					
（後期）10月～2月	熟語 ［教材］副読本、ワークシート	a：特殊な読みの熟語を理解し、意味と結びつけられている。 b[　書　]：学んだ語句を用いて文章が書ける。 c：理解するまで、課題に取り組むことや、質問をすることができる。	定期考査	ワークシート	観察
	外来語 ［教材］］副読本、ワークシート	a：論文やビジネスで用いられやすいカタカナ語の意味を理解する。 b[　書　]：学んだ語句を用いて文章が書ける。 c：自身で語句や意味を調べることができる。	定期考査	ワークシート	ワークシート
	小論文 ［教材］］副読本、ワークシート	a：小論文の書き方を理解している。 b[　書　]：自身の意見を述べることができる。 c：よりよい文章にするため、調べ学習などにも取り組んでいる。	定期考査	ワークシート	観察 ワークシート
	ディスカッション ［教材］］副読本、ワークシート	a：正しい議論の方法を身に付けている。 b[　話／聞　]：命題に対する自身の意見を交換している。 c：ふりかえることができている。	観察 ワークシート	観察	ワークシート
	文章表現・読解 ［教材］］副読本、ワークシート	a：誤字脱字、表現の言い換え、文脈に応じた漢字の使い分けなどができる b[読]：文章を読み、適切な表現に直すことができる c：他者の解答例を参考にして、ふりかえりができる。	定期考査	ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　２０　）時間